

結いの心

地域みんなで結ぶ大きな絆

令和6年10月号

木城町自治公民館連絡協議会

自治公民館活性化支援員 大津 新

今こそ地域のかを見直そう！2

9月1日（日）「防災の日」に合わせ中川原自治公民館で、自治公民館、日本赤十字奉仕団、社会福祉協議会、消防団第1分団第2部、木城町役場の支援協力により子ども会を中心に「防災・減災」に関する体験活動が行われました。

まず初めに、ハイゼックス米の炊き出し訓練では、自分がお昼に食べるご飯を、お米、水を定量はかり炊き出し用シートに入れ、空気をしっかりと抜いて沸騰

したお湯に入れました。ご飯が炊けるまで、公民館の中で、煙体験、被災時の紙皿作り体験、心肺蘇生法・AED体験、救急搬送担架体験、公民館の外でお菓子作り体験、消防車試乗体験、ジェットシューター消火体験などが行われました。



最後に、ハイゼックス米をカレーライスにしてお昼ご飯を食べながら、総務財政課危機管理担当の佐々木係長から「今そこにある危機」という防災減災のお話がありました。親子、地域の方々が参加され、充実した活動となりました。

（この活動は、本年度の「大人と子どもの交流事業」の一環として実施されました。）

備えあれば患いなし！

被災時には、「共助」による地域での連携協力が重要な力ギとなります！
そのためにも平時からの協力体制「地域力」の向上を進めましょう！

第3回自治公民館連絡協議会役員会

9月12日(木)第3回役員会を開催しました。8月27日に実施した「第2回公民館長会」の報告・反省、本年度の自治公民館に関する表彰候補者、12月に行われる「町民グラウンドゴルフ交流大会」の計画に関する報告・協議を行いました。今後の活動をさらに充実していきたいと思います。

町民グラウンドゴルフ交流大会 12月8日(日)

※自治公民館で参加者募集を行います！



敬老大会・敬老の日イベント

9月16日(月)の「敬老の日」に合わせ、自治公民館で長寿をお祝いするとともに、地域社会でのご貢献への感謝をお伝えする「敬老大会」が開催されました。コロナウイルスの感染



状況から、本年度もお祝いの配付のみにとどめられた公民館もありましたが、実施された所では、町長のお祝いメッセージをお届けしました。

またリバリスでは、「敬老の日お祝いイベント」として、「落語公演&漫オライブ」を実施し、町内外の方々に「笑いに包まれた秋のひととき」をお過ごしいただきました。



テレビやネットでよく見聞きする「SDGs」ってなあに？(7)

今回からSDGsの17の目標について紹介します。



7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに

エネルギーは、世界がいま直面している主な課

題と機会のほとんどすべてで中心的な位置を占めています。雇用であれ、安全保障であれ、気候変動であれ、食料生産であれ、所得の増大であれ、すべての人がエネルギーを利用可能にすることは必須です。この目標はその他の持続可能な開発目標とも相互に結び付いているため、その達成に向けた取り組みは特に重要となります。**エネルギーへの普遍的アクセス、エネルギー効率の改善、新たな経済と雇用の機会を通じた再生可能エネルギーの利用拡大に注力することは、より持続可能で包摂的なコミュニティをつくり、気候変動をはじめとする環境問題に対するレジリエンスを高めるうえで欠かせません。**

現時点で、およそ30億人がクリーンな調理法を利用できず、危険なレベルの空気汚染にさらされています。また、電力を利用できない人々も10億人弱に上りますが、その50%はサハラ以南アフリカで暮らしています。幸いなことに、過去10年間には水力、太陽光、風力による再生可能電力の利用について前進が見られており、GDP1単位当たりエネルギー使用量も改善しています。

しかし、課題の解決には程遠いため、クリーン燃料とクリーン技術へのアクセスを拡大するとともに、建物や輸送、産業における最終用途への再生可能エネルギーの統合をさらに前進させる必要があります。官民のエネルギー投資も増額する必要があるほか、世界のエネルギー・システムを転換するための規制枠組みや革新的ビジネスモデルにさらに注力することも必要です。

＜国際連合広報センター資料引用＞

